

未来洞察を活用した 新規事業・研究開発テーマの創造

●プログラム●

【開催主旨】

未来予測の方法論には様々なものがあり、確立した方法論もあります。我々がおすすめし、実践している「未来洞察（フォーサイト）」は、未確立な方法論ではありますが、「非連続な未来からインスピレーションを得て、中長期の経営・事業戦略策定や新規事業創造に活用する」ことに適したアプローチです。未来を知ろうとする、自らが未来を創ろうとする過程での「新たな気づき」があってこそ、未来の非連続性や不確実性を自社の戦略策定や事業・研究テーマ創造の源泉として活用可能になるという考え方です。

あらゆる方法論がそうであるように、未来洞察をツールとしてうまく活用するには、ちょっとしたコツと日々の実践が必要です。そこで、本セミナーでは、参加者同士の対話を交えながら、事例や実践知を紹介していきます。

◆日時：2017年2月7日（火） 13:30～17:00

◆会場：東京・麹町 「企業研究会 セミナールーム」

◆講師：(株)日本総合研究所 未来デザイン・ラボ シニアマネージャー 八幡 晃久氏
シニアマネージャー 石野 幹生氏
一橋大学大学院 商学研究科 教授 鷲田 祐一氏

【略歴】八幡 晃久氏

大阪大学大学院工学研究課修士課程修了。専門は、インド・アセアン市場の市場調査・戦略立案、CSR / CSV 関連コンサルティング、物流改革・BPR 戦略の策定・実行支援、未来洞察を活用した中長期経営計画策定・新規事業立案等。『新たな事業機会を見つける未来洞察の教科書』（KADOKAWA）監修。

石野 幹生氏

(株)博報堂にて、幅広い業種のマーケティング戦略、ブランド戦略立案業務に従事後、研究テーマ開発、新規事業開発などのコンサルティングに携わる。2015年より現職。専門は未来洞察、デザインリサーチに基づくイノベーション創発支援。『(略)未来洞察の教科書』執筆。

鷲田 祐一氏

一橋大学大学院商学研究科教授。専門は、技術普及論、ユーザーイノベーション論、グローバルマーケティング。東京大学大学院総合文化研究科修了（学術博士）。主な著書に「イノベーションの誤解」（日本経済新聞出版社）、「デザインがイノベーションを伝える - デザインの力を活かす新しい経営戦略の模索 -」（有斐閣）等。

●参加要領●

一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

*当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) からもお申込みいただけます

●受講料●1名(税込み、資料、書籍代含む)

正会員	36,720円	本体価格 34,000円
一般	39,960円	本体価格 37,000円

- 申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてに FAX いただくか、当会ホームページからお申し込み下さい。後日（開催日1週間～10日前までに）受講票・請求書をお送り致します。
- 申込書を FAX にてご送信いただく際は、FAX 番号をお間違えないようご注意ください。
- 会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより【TOP】→【公開セミナー】→【よくあるご質問】をご参照下さい。
- 最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。ご了承ください。

一般社団法人企業研究会

担当：村野 E-mail murano@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

TEL 03-5215-3550 FAX 03-5215-0951

161626-1001		※ 2017.2.7 未来洞察を活用した新規事業	
会社名			
住所		〒	
TEL		FAX	
部課		フリガナ	
役職		お名前	
e-mail			
部課		フリガナ	
役職		お名前	
e-mail			

未来洞察を活用した 新規事業・研究開発テーマの創造

1. 概説：未来洞察とは何か

- (1) 未来予測の方法論
- (2) なぜ、未来洞察なのか？
- (3) 未来予測と未来洞察の違い

2. 手法解説：「不確実な未来」をどのように洞察するか

- (1) 未来洞察のフレームワーク
- (2) 未来の 이슈を整理する
- (3) 不確実な未来の予兆を発見する（スキャンング）
- (4) 社会変化仮説を作る
- (5) アイデアを強制発想する
- (6) 未来洞察のコツ

3. 取材事例：日本の大手企業は「不確実な未来」とどう向き合っているか <企業例>

- (1) 賃貸住宅 D 社
- (2) 精密機器 R 社
- (3) 自動車 T 社

4. 実践事例：未来洞察を活用したテーマ創造

<分野例>

- (1) ヘルスケア
- (2) 住まい
- (3) 移動

5. まとめ

※副教材として講師著「未来洞察の教科書」および「未来洞察のための思考法: シナリオによる問題解決」を配布

※当日の講義内容は、多少変更となる可能性があります。